

仁淀川水系宇治川河川整備計画について

平成27年10月29日

高 知 県

仁淀川水系宇治川河川整備計画

2. 河川整備の目標に関する事項

2.2 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

災害の発生の防止又は軽減に関しては、**計画規模の降雨で発生する洪水を安全に流下させるため、河道の整備**を行う。

計画規模を越える降雨や整備途上における洪水等が発生した場合においても、被害を最小化するために、関係機関や流域住民へ情報伝達をするとともに、関係機関と連携し、災害時のみならず平常時から防災意識の向上や水防活動の充実に努める。

仁淀川水系宇治川河川整備計画

3. 河川の整備の実施に関する事項

3.1 河川工事の目的、種類及び施工の場所

宇治川工区は過去の豪雨による水害に対して、河道整備を実施し1/70規模の70%河道が概成しているが、天神ヶ谷川工区においては一部、局部改良事業による河川改修が行われたのみであり、平成14年9月の豪雨では時間最大雨量75mmを記録し、甚大な浸水被害を受けた。

そこで、近年の水害を契機に整備区間の計画河道の早期完成を目指すこととし、**天神ヶ谷川工区においても宇治川工区と同様に1/70規模の70%河道を整備し、社会的、経済的な被害の軽減を図り、河川環境の保全や親水性を高め、住民に親しまれる川づくりを目的として、宇治川の河川整備を実施するものである。**

- ・宇治川工区(L=1,700m、3k/300~5k/000区間)
(河床掘削・護岸工)
- ・天神ヶ谷川工区(L=1,020m、宇治川合流点よりJR 交差点)
(河道拡幅・築堤・河床掘削・護岸工・圧力管路1箇所・橋梁架替9橋、撤去2橋)



2

仁淀川水系宇治川河川整備計画

3.2 計画対象流量及び基準点

宇治川における計画対象流量は下図の値とし、**宇治川は指定区間下流端において130m³/s、天神ヶ谷川は宇治川合流点において35m³/sとする。**また、基準点は枝川水位観測所の位置する西浦地点とする。

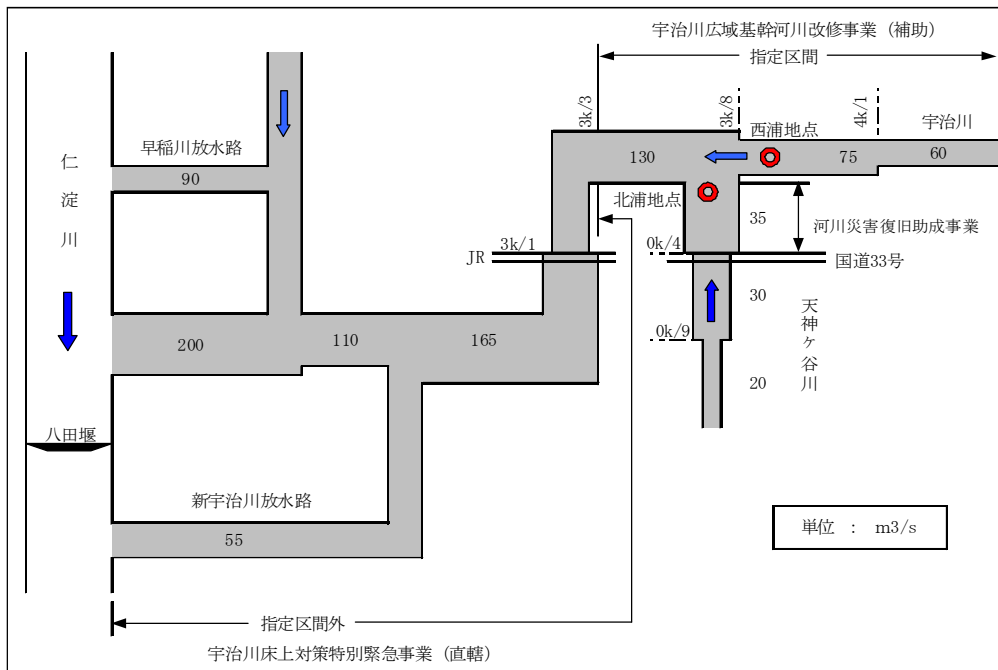


図 宇治川整備計画流量配分

3

仁淀川水系宇治川河川整備計画

3.3 当該工事により設置される河川管理施設の機能の概要

天神ヶ谷川工区では、河道拡幅、築堤、河床掘削、護岸工、橋梁架替を実施し、計画対象流量が安全に流下できる河道断面を確保する。

なお、当該工事により圧力管路の改築を国道横断部で実施し、橋梁架替は9橋で行い、統合により2橋を撤去する。

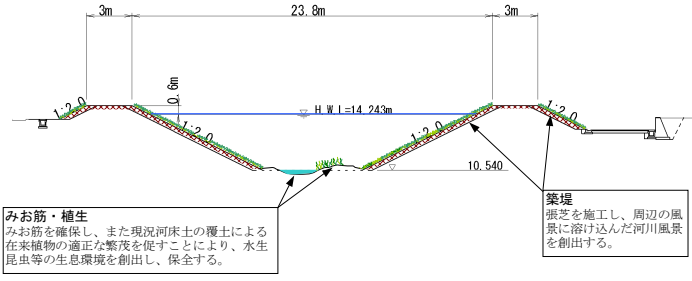


図 標準断面図(Ok/160付近)

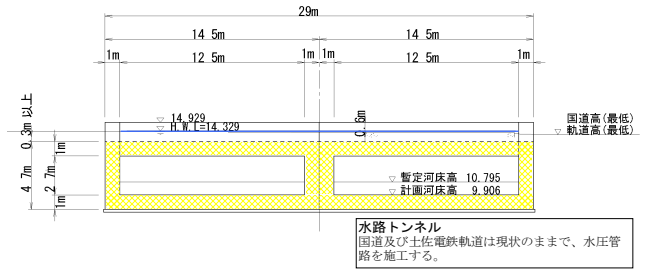


図 標準断面図(Ok/420付近)

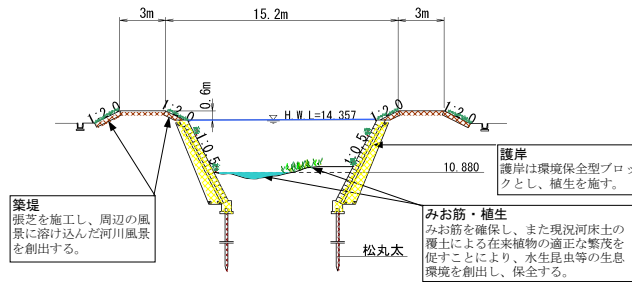


図 標準断面図(Ok/500付近)